

# 第九を歌う会が初の演奏会

合併後の町民の融和と交流を図ろうと誕生した「那珂川町第九を歌う会」(古澤實会長)は12月16日、小川総合福祉センターあじさいホールで第1回演奏会を開催しました。

演奏会は午後1時と3時の2回行い、会員140人と宇都宮高、宇都宮女子高の合唱部や音楽部管弦楽団のメンバーら約90人がステージに立ち、ベートーヴェンの交響曲第九番に挑みました。

会場には、会員の力強い歌声と美しいオーケストラのハーモニーが響きわたり、音楽ファンなど合わせて約700人の観客を魅了しました。



## 3月に歌う会発足

今年1月、町民の中から「第九を歌う会」の会員を募集したところ、約180人が集まりました。年齢層も中学生から80歳近い方までと幅広いうえ、近隣町からの加入者もいて、古澤会長は「第九を歌いたいという関心の高さにびっくりしました」と話していました。3月末に歌う会が発足し、4月から毎週1回、ソプラノ、アルト、テノール、バスの各パ

ートに分かれた練習を開始しました。会員にもなっている地元の中学校や高校の音楽教師が講師となり、3カ月後は男女別、9月末からはホールでの全体練習と段階的に練習を重ねて来ました。

指揮は宇都宮高の藍原寛治教諭で、最初の赴任校が馬頭高校という縁もあり「那珂川町に恩返しをしたい」と毎週、宇都宮市から駆けつけ指導に当たりました。

演奏会は当初1回の予定でしたが、問い合わせが殺到し、1回では会場に入りきれないため、2回公演となりました。会場には町内外から音楽ファンが集まり、満席となる観客で熱気に包まれました。

最初に中島正浩教諭の指揮による宇都宮高校音楽部管弦楽団と宇都宮女子高校オーケストラ部の「木星」の演奏が終了すると、オーケストラの後手に次々と会員が入場しました。

荒城の月や大きな古時計な

ど日本の歌を歌った後、ベートーヴェン作曲の交響曲第九番「合唱」より第4楽章をオーケストラに合わせて歌いしました。途中、ソプラノ、アルト、テノール、バリトンのソリストたちが素人離れしたのどを披露し、観客を魅了しました。最後に観客と一緒にふるさとを歌い、会場は一体感に包まれました。

会員たちは、約9カ月にわたって練習してきた成果を観客の前で披露し、満足感に浸っていました。

## 会員たちで盛り上げた

### 手づくりの演奏会

約230人が一斉に舞台上上がるため、ひな壇の耐久性を計測したり、前日に指揮者の立つ場所が狭いということに急ぎよ、大工である会員の家族に台を製作していただきました。

また、当日は何かおこるかわからないので会員や観客が気分が悪くなったりした時のために、保健師4名が待機していました。

さらに、会員の家族が会場整理、役場職員で組織する「勝

手に助っ人隊員」が受付や駐車場係を分担するなど、多くのボランティア・スタッフがかわり、演奏会を盛り上げました。

今回のイベントで会員の募集から練習、演奏会当日に至るまでの苦労について、古澤会長に伺ったところ「企画・運営等すべてが未経験なので、どう対処したらいいのかわかりませんでした。受付や会場整理、駐車場係など会員の家族などで対応しました。役場職員16人の勝手に助っ人隊員にもご協力いただき、本当に助かりました。

想像以上に皆さんに喜んでもらえました。ふるさとを見直す機会となり、ほこりに思えるよう今後も継続したい」と早くも来年に向け、闘志を燃やしていました。

## 勝手に助っ人隊

### 塚原富太(富山)さんの話

私は駐車場係をしていて、演奏は聞けなかったのですが、帰り際に「とてもよかったです。すばらしかった」という声をたくさん聞いて、寒さが吹き飛びました。



### 指揮者・独唱者・指導者紹介 (敬称略)

指揮	藍原寛治	栃木県立宇都宮高等学校教諭
指揮	中島正浩	栃木県立宇都宮女子高等学校教諭
ソプラノ	山口智子	那須烏山市立荒川中学校教諭
アルト	小林智子	那須烏山市立七合中学校教諭
テノール	沼尾守夫	栃木県立宇都宮東高等学校教諭
バリトン	吉澤政夫	さくら市立氏家中学校校長
編曲	水越丈晴	宇都宮ジュニアオーケストラ指導者・県職員
合唱指導	山口智子 小林智子 岡倉ゆかり 檜山みどり	
練習ピアニスト	高田文子 星晃子 荒井真里子	



ソリストたちが歌う場面



音楽ファンで満席となる会場



最後の調整を行う前日の練習

### 演奏会に訪れた観客の感想 (アンケート調査より)

演奏会に訪れた観客に、感想を伺いました。その一部をご紹介します。

・素晴らしい演奏会で魂が揺さぶられるような感覚を覚えました。このような演奏会を来年も聴ければ嬉しいです。

(町内の女性)

・初めて第九合唱の全部を聴きました。素晴らしく、感動し

ました。皆さんの一生懸命さが私たちの心にも伝わってきました。藍原先生の涙。心が伝わってきました。素晴らしい1日でした。

(町内の男性)

・演奏会までには大変なご苦労があったと思います。みんなの気持ちが1つにまとまって完成したことに感動しました。私も入りたいと思います。最初の赴任校ということでも今那珂川町の音楽の向上に尽力している藍原先生の姿勢

を見習いたいと思います。

(町内の女性)

・クラシックからポピュラーまで音楽大好きです。生の演奏は初めてで、とても感動しました。また、来年も来たいと思います。観客のマナーもよく、那珂川町は文化の香りが高くうらやましいです。

(大子町在住者)

・全くの素人をごこまで成長させた指導者の皆さまに感謝しました。

(町外の女性)